



上／古民家を再生した風情ある建物は、周囲の自然に美しく調和しています。
左／東京都出身の中澤さんは、大学では機械工学を専攻し、大手電機メーカーに就職したものの「農業がしたい」という思いにより、ワイン造りの道に進みました。

**ブルース・ガットラヴ氏
(現・10Rワイナリー)を
魅了させたブドウ**

栃木県のココ・ファームワイナリーの醸造家だったブルースさんが、ブドウ栽培の適地を探していた頃、北海道のブドウを購入し、ワイン造りをする中で、「中澤さんをはじめ、空知の生産者から届くブドウの品質がとても良かったので、こんなブドウが実る場所なら、質の高いワインが造れる」と感じ、

中澤さんと同じ岩見沢市栗沢町に移住を決意したことは、有名なお話です。



北海道らしさを込めて
涼しい土地ならではの
味わい

栗澤ワインズ ナカザワヴィンヤード

Kurisawa Wines Nakazawa Vineyard

中

澤一行さんが、当時働いていたワイナリーから独立し、奥様の由紀子さんとともに、北海道岩見沢市栗沢町でブドウ栽培を始めたのは2002年のことです。土地勘のある空知で栽培に適した南向きの斜面を探し、牧草地だったこの土地に辿り着きました。2017年には、近藤さんらとともに設立した醸造所(栗澤ワインズ)で自ら醸造を開始しました。

「より土地の味を表現したいので、畑の中にあるものだけで循環させ、できるだけ人の介入を控えています」と語る中澤さんは、除草剤や化学合成肥料を使わず、畝の間に生い茂る草花も刈るのは必要最小限にとどめ、刈り取り後はそのまま土に還します。

冬の降雪量が少なく、夏も冷涼な土地で育ったケヴェルツトラミネール、ピノ・グリなど、4種のブドウを一緒に醸造した「クリサワブラン」は、そのきれいな味わいに多くの人が舌を巻く北海道を代表する白ワインです。

ナカザワヴィンヤード

(醸造所:栗澤ワインズ農事組合法人)

☒ 北海道岩見沢市栗沢町加茂川140
☒ 要問合せ
☒ vineyard@vmail.plala.or.jp



VINEYARD DATA

- 主な栽培品種：ピノ・グリ、ケヴェルツトラミネール、ケルナー、ピノ・ノワール、他
- 生産本数：約4,000本/年
- 栽培面積：2.7ha
- ファーストヴィンテージ：2006年
- ラインナップ：クリサワブラン/750ml

<クリサワブラン/750ml>